

質 問 回 答

2016 年 12 月 26 日

「パキスタン国シンド州におけるインフォーマルセクターの女性家内労働者の生計向上および生活改善支援プロジェクト(フェーズ I)

(公示日:2016 年 12 月 7 日/公示番号:160959)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P.3 2-9 PMU がベースラインおよびエンドラインの計画・管理をおこなう	「活動の概要」の 2-9 で、「PMU がベースラインおよびエンドラインの計画・管理をおこなう」とある。フェーズ1で、「ベースライン調査」をする必要はあるか？ベースライン調査はフェーズ2で実施することを想定しているか？	フェーズ1で実施する調査結果がベースラインとなることを想定しています。フェーズ2では金融アクセスに関してのみベースライン調査を実施する予定です。
2	P6 (3) フェーズ II の実施に向けた PC-1 の作成・承認プロセス支援 P8 ア)ワークプラン記載項目(案) e)PDM(指標の見直しおよびベースライン設定) 同 添付資料①PDM(修正版)	PC-1 の作成には、ある程度 PDM において活動内容(対象地域や体制など)を詰めておく必要があると考える。PDM については、指示書 P8 のワークプラン記載項目、添付資料に記述があるが、業務開始 2 か月後に提出するワークプランで、指標の見直し、ベースライン設定を行うこととなっている。 ① 指標やベースライン値は、実態調査やニーズアセスメント調査を踏まえて、活動内容を固めた後でないと設定が困難と考えるが、ワークプラン提出時にこれらの情報を設定するための業務内容についてご指示いただきたい。	① ワークプラン記載項目(案)の「9)PDM(指標の見直し及びベースライン設定)」については「e)PDM」とし、指標の見直し、ベースライン設定は削除致します。 ② 基本的には PDM の改訂案に基づいた PC-1 を作成・承認することを想定していますが、完全な改訂版が出来るのを待たずに PC-1 承認手続きに入ることは時間的制約からやむを得ないと考えております。

		② より現実的な内容の PC-1 を作成するのであれば、実態調査や対象地域を確定(改訂版 PDM の承認)した後でないで作成するのが困難であるが、これを待つとフェーズ1での承認が難しくなる可能性がある。PC1 作成と PDM の改定作業の関係につき、ご教示いただきたい。	
3	p.9 (2)技術協力成果品等 コンサルタントが直接作成する以下の資料を提出する。 ア FHBWs実態調査報告書 イ ライフマネジメントスキルニーズ調査報告書 ウ 支援対象産品選定のためのニーズアセスメント調査報告書 エ 金融アクセスニーズアセスメント調査報告書	「(2)技術協力成果品等」に、「金融アクセスニーズアセスメント調査報告書」とあるが、該当する「活動5-2」はフェーズ2で実施することを想定されていると理解する。同調査報告書は、「活動5-1」の結果報告と捉えて間違いないか？	ご理解のとおり、活動5-1の結果報告書になります。
4	p.9 (2)技術協力成果品等 コンサルタントが直接作成する以下の資料を提出する。 ア FHBWs実態調査報告書 イ ライフマネジメントスキルニーズ調査報告書 ウ 支援対象産品選定のためのニーズアセスメント調査報告書	「(2)技術協力成果品等」の4種類の報告書の提出仕様(製本形式および冊数)を教示ください。	プロジェクト事業完了報告書(フェーズ 1)の別冊として4つの報告書全てをまとめたものを製本してください。冊数についてはプロジェクト事業完了報告書(フェーズ 1)にならう形をお願いします。

	エ 金融アクセスニーズアセスメント調査報告書		
5	P.10 【業務実施上の条件】 3. 対象国の便宜供与 WDD の庁舎もしくは関連施設内に事務所スペースが提供される。	「対象国の便宜供与に、執務スペースが提供される」とあるが、家具等の提供もあるのか？	机、椅子などの最低限の家具は提供される予定です。
6	P.10 【業務実施上の条件】 3. 対象国の便宜供与	フェーズIIにおいて本プロジェクトに配置されるカウンターパートは既に決まっているのか？決まっている場合、配置の詳細について教示ください。	現時点ではまだ詳細は決定しておりません。
7	該当箇所なし	プロジェクト活動に必要なカウンターパートの交通費、日当を見積に積む必要があるか？積む必要がある場合、シンド州政府の単価はいくらか？	交通費・日当は見積に含めてください。シンド州政府を含めパキスタン公務員の日当単価は中堅職員クラスで 900PKR (パキスタンルピー)/日、課長クラスで 1600PKR/日となっています。また宿泊費は実費または日当の 2 倍を目安に支給されています。
8	P4 【業務主任者(総括/機関間連携)】 6)特記すべき類似業務	金融包摂関連の研修について記載がございますが、業務主任者がこの研修を受講しているのが望ましい理由をご教示いただけないでしょうか。また、業務主任者のみではなく、他の評価対象業務従事者も同様に金融包摂関連の JICA の能力強化研修受講履歴が評価されますでしょうか。	業務主任者がプロジェクトを総括するにあたり、貧困対策全般、そして金融包摂の概要を理解していることがプラスになると考えますので、当該研修の受講が望ましい(必須ではない)としております。 また、他の評価対象業務従事者においても受講されている場合には評価対象とします。

9	【第 2 業務の目的・内容に関する事項】P4 パイロット活動 3(金融アクセス) 5-2 ニーズアセスメント	P4 5-2 金融アクセスニーズアセスメント調査の活動は※がついておらず、フェーズ 1 では対象としないと理解しておりますが、P9 の成果品には「金融アクセスニーズアセスメント調査報告書」が含まれております。金融アクセスニーズアセスメントは本件業務の活動範囲に含まれているのでしょうか？	上記質問3同様、「金融アクセスニーズアセスメント調査報告書」ではなく、活動5-1の結果をまとめた報告書となります。
10	【第 2 業務の目的・内容に関する事項】P8 イ)プロジェクト業務完了報告書記載項目(案) f)事業事前評価表(案)	f)事業事前評価表(案)はフェーズⅡに対するものという理解で間違いございませんでしょうか。	ご理解のとおりです。
11	【第 2 業務の目的・内容に関する事項】P5 (4)JICA 技術協力プロジェクト「オルタナティブ教育推進プロジェクト」との連携	「オルタナティブ教育推進プロジェクト」の報告書を共有してもらうことは可能でしょうか。	現時点で共有できる報告書は無いため、JICA ホームページ等で公表されているプロジェクト情報をご参考下さい。 https://www.jica.go.jp/oda/project/1500360/index.html
12	【第 2 業務の目的・内容に関する事項】P10	指示書の中で「サプライ・バリューチェーン」と「サプライ・バリューチェーン分析」の2つの表記が混在しているが、どちらが業務従事者の正式名称なのかご教示ください。	「サプライ・バリューチェーン分析」を正とします。

以上